

令和5年度「連携についての実践報告集」

山梨県立吉田高等学校

実践事例 1

令和5年度「教育ボランティア」

本校では地域貢献の一環として、平成20年度より、進路が決定した3年生を近隣の小中学校へ教育活動の支援を行うスタッフとして派遣してきました。この事業を通じて、本校の教育活動への理解を深めていただくこと、地域全体の教育力の向上に貢献することが目的です。

過去9年間に及ぶ活動は、小中学校からも高い評価を受けると同時に、参加した生徒たちにとっても、高校生活の最後を飾る有意義な行事となってきました。

教員志望の生徒や福祉、ボランティア活動に興味関心を持つ生徒が多数参加しているこの活動に、今後も積極的に関わらせていただきたいと思います。

〈 概 要 〉

- 1 派 遣 校 下吉田第二小学校 下吉田中学校
- 2 活 動 日 令和5年2月中（登校日を除く。本校の校内行事に支障のない範囲で活動）
[下吉田第二小] 2月20日（月）、21日（火）、24日（金） いずれも終日（給食あり）
[下吉田中] 2月20日（月） 16:00～17:00
21日（火） 15:20～17:00
- 3 活 動 内 容
[小学校] ・授業中の教科学習補助
・清掃・給食のお手伝い
[中学校] ・定期試験に向けて放課後に行う、英語・数学等の補習補助



実践事例 2

プロジェクト 2 2 3 (フジサン)

本校では、自分たちが所属、生活する地域社会が抱えている様々な課題について、主体的にとらえ考え、解決に導く力を生徒に身に付けさせたいという観点から、「富士山学」という独自科目を設定し、主に総合的な探求の時間を中心に、さらに富士北麓地域を対象として課題探究活動を行っています。富士山学の基本的構成は、さまざまな領域から講師を招いて講義講演を受け、まずは多くの知識や情報をインプットして行く段階と学んだ情報、知識から自分が探求しようとするテーマを見つけ実際に活動して行くというステップとなっています。この「プロジェクト 2 2 3」は、そのインプットの段階にあたるもので、

①富士山および富士北麓地域のために行われている取り組みについて、より実際的な話を聞き、「富士山学」への各自の取り組みの参考とする。

②「富士山学」への各班の取り組みについて、富士山および富士北麓地域の方から助言をいただき、今後の活動に活かす。

という目的の下、さらに一步踏み込んだ、体験や経験談、あるいは実体験をするというものです。

〈 概 要 〉

6月21日(水) : プロジェクト 2 2 3 (グループ毎本校内各会場)

富士吉田商工会青年部の講師から事例提供を受け、各グループ企画書にアドバイスを受ける。講師・アドバイザー計 20 名

〈 具体的テーマ 〉

講師氏名	ジャンル	講演タイトル
渡辺果林	子育て	わがままママのわがまなまま
小野利郎	建築	富士吉田の文化
羽田友太	飲食	らーめん屋になるまでと恩返し
堀内洋平	染め物	地場産業の技術を魅力に! 地元の産業を現代のマーケティングと絡める仕組み
守山龍一	防災	富士吉田市の防災対策
小林純	観光	本町通りを訪れる観光客の現状
天野慎也	観光	観光客に対して出来ることとすべきこと
外川喜彦	空き家	街中にある空き家(ゴミがいっぱい)を有効活用、 オシャレな空間を創り出そう!!
小林恵	介護	生きる ~最後まで自分らしく 最後までその人らしく~
山崎博之	織物	郡内織物の過去・現在・未来



実践事例 3

令和5年度 地域と学校の協働推進事業に関わる地域防災の取組

1 目的 本校は、地域の防災避難場所に指定されていることから、台風・大雨、地震、富士山噴火等の自然災害の発生に備えて、学校と地域が一体となって地域防災に取り組んでいます。今年度は、地域との協働をさらに深め、災害時にどのような役割を果たせばよいか、地域社会とどのように繋がっていけばよいかをより深く考えるために、市当局及び地域社会との連携をより緊密に進め、一つの方向性を模索、構築しています。今回は市主催のフォーラムに本校生徒教職員も参加させていただき、防災意識を高めることができました。学校と地域が一体となって防災教育に取り組み防災に対する意識を向上させると同時に、地域を大切にする心を育む契機としての行事でしたが、今後も定期的に今回のような、情報共有と交換、学びの機会を作っていきたいと思っています。

2 日時 令和5年9月3日（日）13：30～15：30 「防災フォーラム」
@富士吉田市民会館 ふじさんホール

3 内容 富士吉田市防災の日に行われる防災専門家と市長によるパネルディスカッション「富士山噴火を知る」～住民として児童・生徒としてどう備えるか～への参加。本校の富士山学の防災グループ（2年）15名程度と防災委員（1，2年）20名程度が参加し、地域防災について質問し見聞を深めました。

4 その他 今後富士山学の防災グループが、富士吉田市役所防災課職員、富士吉田市消防署職員、地元自治会の代表者等とワークショップを開催する予定です。
今回、市や地域の自主防災会から担当職員や代表の方々をお招きして「地域と連携した防災教育の取組」をテーマに会合を開催することができました。

